



## 第1日目(7/15) 出発にあたって 北摂つばさ高校にて 集合・出発

2019・2020年と実施できず3年ぶりの実施となりました。新コロナの感染が急拡大するなか、40名を超える参加者で行動するため事前の検温報告及び活動中の検温・消毒等徹底しながら実施します。事前研修も終え、生徒たちにとっていい経験になるよう引率者も心がけていきたいと思ひます。今年度はアジアユースサミットのユースリーダーに務めている本校の卒業生2名がサポーターとして参加してくれています。先輩たちとの交流もいい経験になるでしょう。



北摂つばさ高校にて



北摂つばさ高校にて



バスにて出発

## 生徒たちの出発に向けてのメッセージ

### 3年坂本

約2ヶ月前から準備してきた東北プロジェクトがついに始まります。私は部活などの予定が重なってしまつて、事前学習に参加することができませんでした。だからこそ、気仙沼では人一倍自分にできることを探したり、多くのことを学んだりしたいと思います。また、春日丘のメンバーだけでなく、他校の方もたくさん参加しているので、他校の方達との交流の輪も広げていけたらいいなと思ひています。そして民泊では班長としてしっかり周りを見て行動し、民泊の方との交流も大切にしていきたいです。

### 2年山本

出発にあつて、主に新型コロナウイルスの感染対策と集団行動についての注意喚起をされた。出発前にボランティアに行く側の人間がボランティア先で感染を拡大させることはあつてはならない、といったニュアンスのメールを読んだが、注意喚起を受けて、今一度細心の注意を払つて行動しなければいけないと痛感した。感染者が全国規模でどんどんと増えていく中、東北まで移動し活動できるということ自体が有難いことである。

集団行動も周りは勿論自分の安全を守るためのものであり、もし時間を厳守しなかつたりして周りに迷惑をかけてしまうと、自分にもその迷惑が返ってくる。呼びかけられた通り、既に感染していると思つて行動し、自分のちょっとした杜撰な行動で周りに迷惑がかからないように気をつけたいと思ひます。

### 1年田丸

私は出発に向けて、期待や緊張など、様々な気持ちを持っています。ボランティアとしてしっかり活動できるのか、民泊先で他の人と協力しながら気持ちよく過ごせるのかなど、不安もあります。けれど、その緊張や不安に負けないように活動をしていきたいです。